

令和 3 年度使用

# 中学校用教科用図書研究資料

社 会（地理的分野）

教科用図書南那珂採択地区協議会

1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、編（章）の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化され、単元を通して課題解決的な学習活動ができるようになっている。</p> <p>また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を深める「地理にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&amp;トライ」コーナーに取り組みめるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章（節）の構成は、学習のテーマをつかむ導入ページ、本時ページとそれに関連した特設ページ、学習のまとめと表現ページとなっており、見通し・振り返りの学習活動に取り組みやすくなっている。</p> <p>また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、興味・関心を喚起する「地理の窓」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容を深める「確認!」「表現!」コーナーに取り組みめるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章（節）の構成は、地域を概観するページ、地域的特色・課題を把握するページ、追究するページとなっており、主体的に異文化・国土理解を深められるようになっている。</p> <p>また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、コラム「未来に向けて」などを活用して追究し、最後に、知識の確実な習得や言語活動につなげる「確認」コーナーに取り組みめるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章（節）の構成は、導入ページ、大観ページ、主題学習・動態地誌的学習のページ、ふりかえりページとなっており、生徒が学習を振り返られるようになっている。</p> <p>また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、その手がかりとなる「見方・考え方」やコラム「地理+α」などで追究し、最後に、学習内容の理解を確かめる「確認」に取り組みめるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

※主題学習………地理的な主題（テーマ）を設定して学習する方法

※動態地誌的学習…地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して地域的特色をとらえさせる学習

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各単元の導入において、地理的な「見方・考え方」を提示したり、キャラクターを用いて、単元全体を貫く「探究課題」を提示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地理の学習に必要な資料の読み取り方やまとめ方を系統的に学習できるようにする「スキル・アップ」や、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、多様な「思考ツール」を活用したり、先生キャラクターとの会話を通して、「見方・考え方」を活用した探究課題の解決を促したりするなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各地域の地域的特色を自然環境・人口・産業等に沿って、他の事象と有機的に関連付けながら追究するとともに、特設ページで当該地域の課題についても考えるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地図やグラフの近くに関連する課題を設けて理解を確認したり、適宜設けられた「地理の技」コーナーで、地理的技能を身に付けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、本文の流れに即して資料を読み解きながら考察を深めたり、まとめたりする「読み解こう」のコーナーが設けられるなどの工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、単元冒頭に学習の進め方や各地域で注目するテーマや視点を「序説 学ぶにあたって」として示し、生徒が学習の見通しをもちやすくするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、本文中の用語を分かりやすく説明する「解説」のコーナーを設けたり、基礎的な技能を身に付けるための「技能をみがく」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、地図や写真、表等の様々な資料を活用して学習内容を説明する活動を設定するなどして、学びの振り返りができるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各編の冒頭において、小学校で学習した内容を振り返るとともに、「この章で主に着目する見方・考え方」を明示し、学習への見通しをもたせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地理的技能を身に付ける「スキルアップ」コーナーを設けたり、作業的な学習を取り入れる「トライ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、振り返りの場面において、自分の考えを明確にし、他と協働して考える「チャレンジ地理」や「アクティビティ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。</p>

### 3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点から、地図やグラフ等には鮮やかで明るい色を使うなどの工夫が見られる。</p> <p>また、他分野や他教科との関連を示す「関連マーク」が表示され、学習内容の関連性・系統性を意識したり、「二次元コード」を読み取って、インターネットを活用した振り返りや発展的な学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れたり、8ページの折り込み写真資料を掲載したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、巻頭には小学校の学習を振り返るページを、見開きページ下には関連分野を掲載して学習内容の関連性・系統性を意識したり、「二次元コード」を読み取って、インターネットで資料を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点から、グラフの折れ線を太く鮮明にするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、小学校の内容との関連を、部及び章の冒頭ページや見開きページ下で確認し、学習内容の関連性・系統性を図ったり、「二次元コード」を読み取って、動画などのコンテンツを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点から、重要語句には全てルビをつけるなどの工夫が見られる。</p> <p>また、章ごとに色分けしたインデックスを、ページ右端に示すことで、学習している場所を明確にしたり、「Dマーク」のある箇所では、QRコードを読み込んで、デジタルコンテンツ資料を活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p>

※ユニバーサルデザインフォント… ユニバーサルデザインに対応して開発されたフォント（UDフォント）

※カラーユニバーサルデザイン … 色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせからなるデザイン。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

〔観点4〕 家庭や地域と連携した学習の推進とともに、生徒の確実な基礎・基本の定着という視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 地域と連携した学習が図られるように、単元末において、「まとめる」のコーナーが設定されており、自然災害学習から、生徒が地域住民としての意識を深め、対策や課題に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、単元のふり返しとして、地形名（河川・山脈名）等を書き入れる問題や探究的な課題に取り組み、学びが深められるように工夫されている。</p>
17 教 出	<p>(1) 地域と連携した学習が図られるように、単元末において、「表現！」のコーナーが設定されており、景観学習から、生徒が地域住民としての意識を深め、対策や課題に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、単元のふり返しとして、地形名（河川・山脈名）等を書き入れるワードチェックや学級で意見交換をすることで、学びが深められるように工夫されている。</p>
46 帝 国	<p>(1) 地域と連携した学習が図られるように、単元末において、「私たちとの関わり」のコーナーが設定されており、他の地域学習から、生徒が地域住民としての意識を深め、課題に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、単元のふり返しとして、地形名（河川・山脈名）等を書き入れるキーワードチェックや意見交換をすることで、学びが深められるように工夫されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 地域と連携した学習が図られるように、単元末において、「アクティビティ」のコーナーが設定されており、多文化共生の学びから、生徒が地域住民としての意識を深め、課題に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(2) 生徒の確実な基礎・基本の定着のために、単元のふり返しとして、地形名（河川・山脈名）等を書き入れる問題や意見交換をすることで、学びが深められるように工夫されている。</p>